

HTBasic 10.1 for Windows 開発バージョン

Windows10、Windows8.1sp3、Windows XP、Windows VISTA、Windows 7sp1 の OS 環境で動作するパーソナル・コンピュータで、HP 9000 シリーズ 200/300 BASIC ワークステーションでの言語と使用環境を構成できます。(注：Windows XPsp3、Windows VISTA、Windows 7sp1 でのご使用については、Microsoft 社のサポート状況をご確認ください)

HTBasic 10.1 開発バージョンの CD には、バージョン 9.5 までに含まれていた旧バージョン (DOS 版/6.1/7.4/8.3 並びに 9.5) はご提供外となりました。

[特色]

- Windows10、Windows8.1、Windows XP、Windows VISTA、Windows 7sp1 OS の元で動作します。
- HTBasic のユーザ・インターフェースが新しいアイコン/ツールバー/ウインドウの表示・非表示等アップデートされました。

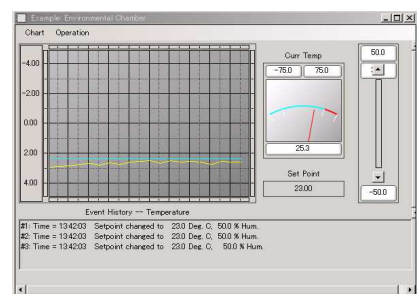
```

10 RE-STORE "AUTOST"
20 For the Windows Version.
30 This example AUTOST program demonstrates how to:
40 1) Load the Serial Driver
50 2) Load the GPIB Driver
60 3) Change Keyboard Function keys
70 4) Set various HTBasic Options
80 5) Use command line options
90 6) Automatically SCRATCH the AUTOST
! Please modify this program to fit your needs.
100 COM /Autbst/Drivers_loaded
110 INTEGER Alt+f4,Fixcursr,Winpnl
120 IF NOT Drivers_loaded THEN ! do not load drivers twice
130 *****
140 ! 1. SERIAL PORTS
150 *****
160 ! Remove the "!" from in front of the LOAD for your Serial ports:
170 !LOAD BIN "SERIAL32" ! enable both COM1 & COM2
180 ! To change the default COM1 handshake from XON/XOFF to hardware,
190 ! remove the "!" from the following 3 statements:
200 !CONTROL 9,100:0
210 !CONTROL 9,5:0
220 !CONTROL 9,12:0
230 ! To set the default baud rate and character format for COM1, change
240 ! these statements to the desired defaults:
250 !CONTROL 9,13,9600 ! baud rate
260 !CONTROL 9,14,3 ! char format 3=8p parity
270

```



- Basic Plus は、Windows 7/Windows10 対応のため多くの改善を行なうため、新たに開発されました。Windows GUI ライクの Widgets がたくさん用意されています。



- 米国 TAMS 社の GPIB 製品を HTBasic で使用できるように新たなドライバーが追加されました。(TAMS 社の製品の新たな販売・サポートは 2016.03.31 をもって終了しました) このドライバーのリリースとともに TAMS 社の GPIB 製品のバンドル製品ラインアップの充実 (米国ユーザ向け) が図られました。

アイネット株式会社では、米国 TAMS 社・独国 ines 社の GPIB 製品とのバンドル製品ラインアップも用意致しました。

- Windows 10/VISTA/7sp1/8.1 の Windows HELP フォーマットに対応したオンライン・ヘルプ機能がサポートされました。(WinHlp32 は使用していません)
- HTBasic 9.5 for Windows のリリースから Dual Core PC 並びに Hyper thread PC を

正式サポートします。 9.1以降、引き続き「HTBasic Workshop」をバンドルし、強化された開発環境と強力な数値計算ライブラリーが標準で使用可能となっています。

- 標準 Windows エディターに旧来の HTBasic レガシー・エディタも引き続き利用可能になっています。
- DLL ツールキットに新しい機能と新しい DLL を追加・拡充
HTBasic から Dynamic Link Libraries (DLL's) を呼び出すことを提供します。DDL ローダーは `_csecl` 呼び出し表記を使用した C/C++ といったほかのプログラム言語でプリコンパイルされたものも呼び出せます。このことは、ユーザに対し C や C++ のオブジェクト指向持つフレキシビリティを HTBasic に持たせます。
 - ①: HTBMessageBox DLL は、標準のメッセージ・ボックス・ボタンとアイコンを使用してつくることが出来ます。
 - ②: HTBOScope DLL は、グラフといくつかのカスタマイズ可能なボタンを持つダイアログで、簡単なオシロスコープを作ることが出来ます。
- LONG 整数/STATIC 変数/COMPLEX 変数/行列演算および構造化プログラミングをサポートしています。
- GPIB の TRANSFER 機能をシリアル/ファイルともフルサポート
- HTBasic のデバッガは、Windows 環境下で HTBasic を使ったプログラム開発の効率と柔軟性が最適に活かせるように設計されています。デバッグツールを使えばユーザプログラム中の特定部分の詳細を参照することが出来ます。デバッグを起動するには、Debug (デバッグ) | Run Debugger (デバッグ起動) オプションを選択するか、デバッグツールバーの Run Debug (デバッグ実行) ボタンをクリックします。

HTBasic のデバッガには以下の特長があります。

 - 1) ブレイクポイント
 - 2) ステップ機能 (ステップ・イン、ステップ・オーバー、ステップ・アウト)
 - 3) カーソルまで実行/カーソルから実行
 - 4) 用途別のデバッグウィンドウ
- 開発を支援する検索機能に対するオンラインドキュメントの充実
- find/replace と next/previous でのエラーを含む検索のフル機能を持っています。プログラム開発・デバッグ・実行の統合開発環境に、マウスサポート、インタラクティブな機器制御機能、フルスクリーン・シンタックス対応のエディタを装備しています。
- 使い慣れた HP BASIC のシンタックスで、GPIB や GPIO, TransEra 社製のインターフェースカード製品群をはじめ、HP 社, ines 社, Computer Boards 社, lotech 社, Data Translation 社, および National Instruments 社のデータ収集カードを制御
- スクリーン、プロッタ、プリンタ等のデバイスに依存しないグラフィック出力
- HPGL 互換のプロッタおよびエプソン、IBM、ポストスクリプト、HP 互換のプリンタに対応
- PCX, GIF, DXF, HPGL ファイルのエクスポート
- LIF ディスケット転送ユーティリティ (DOS, BDAT, LIF-ASCII)

[概要]

TransEra 社の HTBasic は、ヒューレット・パッカード 9000 シリーズ 200/300 の Rocky Mountain BASIC と互換しており、DOS または Windows ベースの PC 上で動作します。HTBasic は、BASIC の使い易さ、FORTRAN の数値処理能力、そして Pascal や C 言語の構造化プログラミング能力を兼ね備えた、強力な科学・技術向け言語です。IEEE-488 やデータ収集プラグインカードと併用すれば、HTBasic で PC をフル装備の機器コントローラにグレードアップすることができます。

HTBasic は、シンタックス対応のフルスクリーン・エディタやインタラクティブに実行およびデバッグを行うためのステートメントを備えた、Rocky Mountain BASIC 用の統合型プログラム開発環境を提供します。プログラムやデータファイルは、DOS、Windows の両バージョン間で自由に相互変換ができます。

また HTBasic の LIF 転送ユーティリティを使うと、既存の HP BASIC のデータやプログラムファイルを、HP シリーズ 200/300 ワークステーションと PC との間で簡単に相互転送できるようになります。LIF のユーティリティは、BDAT, ASCII, および HP-UX 形式で保存されたデータやプログラムファイルを、LIF 形式のフロッピーディスクと DOS ディスクとの間で転写します。

転送されたプログラムは、わずかな変更を加えるか、または全く変更しないままで実行できるため、プログラムを書き直すための時間と費用が節約できます。また、CONFIGURE ステートメントを使えば、HP のワークステーションの環境に合わせて HTBasic をカスタマイズすることができます。インタープラットフォームの互換性を損なうことなく、複雑なアプリケーションで必要とされる機能を全て活用できるのです。

HTBasic では、HP BASIC ワークステーション (SRM/UX 使用)、HP BASIC/UX、HP BASIC/DOS (NFS 使用の Measurement Coprocessor II カード) をベースとするネットワークを介してデータファイルを同時に共有することができます。

**[機器制御]**

HTBasic では、IEEE-488 や RS-232、 およびデータ収集ボードに対するインテリジェントな制御が簡単かつ敏速に行えます。ホモジニアスな I/O システムを特長とし、一度接続が確立されると、ファイル、IEEE-488 対応の機器、RS-232 対応のシリアルポート、プラグインのデータ収集ボード等、異なる接続先へ同一の方法でデータを転送することができます。このため、プログラミングは容易になり、移植性が高くなります。

HTBasic では、ABORT, CLEAR, ENTER, LOCAL, LOCAL LOCKOUT, OUTPUT, PASS CONTROL, PPOLL, PPOLL CONFIGURE/RESPONSE/UNCONFIGURE, REMOTE, REQUEST, SEND, SPOLL, TRIGGER 等、使い慣れた HP BASIC のシンタックスを使って IEEE-488 対応のバスを簡単に制御することができます。ON INTR は SRQ やその他のバスの状態に応じてプログラムを分岐させます。

さらに、利用可能な PC 用 IEEE-488 対応カードのほぼ全てと、人気の高い PC 用データ収集力

ード (A/D&D/A 変換) の多くについては、ロード可能なデバイスドライバが用意されており、短時間で立ち上げて稼働させることができます。また、HTBasic では複数の I/O カードを同時に制御することができます。シリアル(RS-232)通信は割り込みによって制御され、ハードウェアまたはソフトウェア(XON/XOFF)のハンドシェイクが可能です。

ロード可能なシリアルドライバは、最高 16 までの RS-232 ポートに対応しています。

[データ表現の多様性 (グラフ化等)]

HTBasic は、パワフルなグラフィック機能で科学・技術系データのデータ表現を向上させます。HTBasic のグラフィックはデバイスに依存しないため、グラフなどをスクリーン、プロッタ、プリンタ、または様々なファイル形式へ書き出すことができます。

グラフィック・ディスプレイ用ドライバは、Hercules Monochrome, CGA, EGA, VGA, およびほとんどの Super-VGA ディスプレイに 16 色と 256 色の 2 モードで対応しています。HTBasic は、Epson、IBM、ポストスクリプトおよび HP 各互換のプリンタ用や、HPGL または HPGL/2 対応のプリンタおよびプロッタ用にロード可能なドライバを提供するとともに、PCX、GIF、および DXF AutoCAD 用の変換ファイルドライバを提供します。また、カラー PCL (HP-PCL) プリンタもサポートしています。Microsoft 互換のマウス、あるいは Microsoft 社製マウスと互換するタッチ・スクリーン、デジタイザ、ライトペン等には全て HTBasic が使えます。HTBasic を使えば、その優れたグラフィックツールにより、データの価値を最大限に引き出すことができます。

[データ分析]

HTBasic は、複素数、マトリックス演算、マルチメガバイト・アレイ等、データの簡明化やデータ分析上のあらゆる要求に応じることができます。データの収集、分析、表現の機能を同一の使いやすいプログラミング言語で扱うことにより、1 つの統合パッケージでデータ処理の始めから終わりまでを一括管理することができます。

追加機能としては、HTBasic レガシー・ワークショップの上級数学ライブラリに、曲線フィッティング、シグナル・プロセッシング、FFT ルーチン等、高度に最適化された関数が用意されています。このワークショップには、演算処理のパフォーマンスを目覚しく向上させる HTBasic 数値コンパイラも含まれています。

[HTBasic Plus]

HTBasic Plus は約 30 種の新しいグラフィック表示に関するグラフィカル・ユーザ・インターフェースを生成するコマンドを提供します。リプライ要求/注意・エラーメッセージの表示とかそのとき必要な情報の表示用のダイアログ・ボックスをすばやく、簡単に生成します。ユーザからの応答は、入力ウェジットから引き渡されます。

HTBasic Plus に含まれ提供されている「Screen Builder」には、keypad/pushbuttons/scrollbar/toggle button 等が含まれています。

[HTBasic Windows バージョン]

HTBasic Windows バージョンは、OS 史上、最も利用されているプラットフォームである Windows 環境で、Rocky Mountain BASIC がサポートする全てのパワフルな機能を提供します。

HTBasic for Windows は、完全に 32-bit コードでできているため、Microsoft 社の Windows 製品の最新 32-bit バージョン仕様です。HTBasic Windows バージョンの実行ファイル(.prg)は、Windows 10/8.1/XP/VISTA/7 上で走ります。

HTBasic for Windows のユーザインタフェースは、toolbar/status bar/pull down Menus/scroll bars/dialog Box といった Windows の代表的なものを持っています。

HTBasic Windows バージョンと、9836 や 310 等のワークステーション BASIC が走る従来の RMB 対応コンピュータとの互換率は 98% を超えており、HP BASIC ユーザーであれば、ほとんどの場合、アップグレード時の混乱はありません。

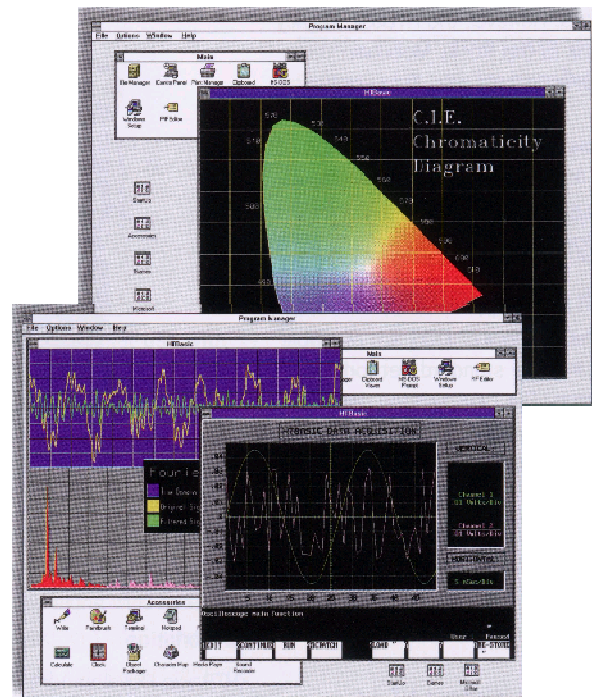
HTBasic は、SEPARATE ALPH FROM GRAPHICS, ON INTR, on SERIAL と TRANSFER をサポートしています。

HTBasic は、TransEra 社の HM900(GPIB-ISA) 含む GPIB カードを Windows XP/VISTA/7 の元での使用を可能とする機能拡張したドライバの提供により使用できるようにしています。また HP 社、ines 社、TAMS 社、NI 社等の GPIB カード並びに TAMS 社の GPIO カードにも対応しています。また ines 社、および National Instruments 社のデータ収集カード (DAQ : AT/PCI/PXI/PCMCIA バス) も対応できます。

HTBasic Windows レガシーバージョン、HTBasic for DOS、HP BASIC for Windows とのバックワード互換もファイルのみならず、プログラムもセーブ形式を変えるのみで取れます。さらに、既存の上級数学ライブラリ用 CSUB や数値コンパイラ、および CSUB ツールキットで生成した CSUB は、変更なしにそのまま使用することができます。

HTBasic Windows バージョンで直接サポートしていない Windows 環境での機能も、開発者が C 言語で記述した 32-bit DLL を CSUB を介して呼び出すことにより、アクセスすることができます。

HTBasic 10.1 for Windows



[システム要件]

HTBasic 10.1 Windows バージョン

- CPU : Pentium/iCore/XION または同等以上 (400MHz 以上) のプロセッサ
Dual Core PC 並びに Hyper thread PC の正式サポート
- OS : Windows 10/8.1/XPsp3 / VISTA / 7sp1 のみでサポート
(注 : Windows XPsp3、Windows VISTA、Windows 7sp1 でのご使用に
ついては、Microsoft 社のサポート状況をご確認ください)
- RAM 容量 : 128 MB 以上 (VISTA→3G 以上推奨 : OS のインストール条件に準拠)
- HDD 空き容量 : 300 MB 以上の空き領域 (HDD 自体は OS のインストール条件に準拠)
- CD-ROM: ダイレクトまたはネットワーク経由

推奨 : Window10 64bit 版/iCore5 以上/Memory8GB 以上、SSD での使用

[製品一覧]

製品内容	製品コード
HTBasic 10.1 for widows 開発用バージョン	H-WF0100
HTBasic 10.1 for widows 開発用バージョン アップデート (10.0.x Windows バージョンから)	H-WF2100
HTBasic 10.1 for widows 開発用ライセンス (マニュアルなし)	H-WL0100
HTBasic 10.1 for widows 開発用バージョン アップデート (10.0.x Windows バージョンから)	H-WL2100
HTBasic 10.1 for widows 開発用バージョン+ines GPIB (ines GPIB 製品との組み合わせ)	H-GPIB-xx-HTB
<ul style="list-style-type: none"> ● ソフトウェア製品の製品コードは、リリース毎に固有のコードで、主要なリリース変更に伴って変更されます。最新の製品コードについては、弊社までお問い合わせください。 ● アイネット株式会社からお届け致します HTBasic 10.x for widows 開発用バージョンならびにライセンスパッケージには、 <ul style="list-style-type: none"> (1) 日本語による関連資料の最新情報を特別 CD-ROM を添付 (2) HTBasic 10.x for widows 用漢字ユーティリティ「KLABEL」1 ライセンス添付 (3) HTBasic ワーク・ウィンドウ設定ユーティリティ (4) その他 ● HTBasic 10 for widows CD には、旧バージョンのインストール用ファイルは含まれなくなりました。 	